

# 第5学年 社会科学習指導案

日 時 平成30年12月5日(水)

対 象 第5学年1組 40名

授業者 S. M.

1 単元名 「工業生産を支える人々」

2 小単元名 「世界とつながる日本の工業」

### 3 小単元の目標

工業生産を支える貿易や海外生産のはたらきと、それらを通じた世界各国との結びつきについて調べ、その特色や課題を捉えることから、今後の貿易・海外生産の進め方について、考えをもつ。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会事象についての 知識・理解
①日本の工業生産の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 ②工業生産を通じた外国とのつながりについて、考えようとしている。	①工業生産における世界各国との結びつきについて、学習問題を通して考えている。 ②日本の工業生産と貿易との関わりについて考え、表現している。	①日本の主な輸出入の品目や貿易相手先について、グラフや地図などの資料から必要な情報を集め、読み取っている。	①貿易や海外生産を通じた世界のさまざまな国々とのつながりが、工業生産を支えていることを理解している。

### 5 小単元について

(1) 現行学習指導要領との関連

本単元は、現行学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

目 標

(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

内 容

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

(2) 教材について

本単元は、現行学習指導要領社会科の内容（3）ウを受けて設定したものである。大単元「工業生産を支える人々」は、「自動車づくりにはげむ人々」、「世界とつながる日本の工業」、「工業の今と未来」の三つの小単元から構成されている。

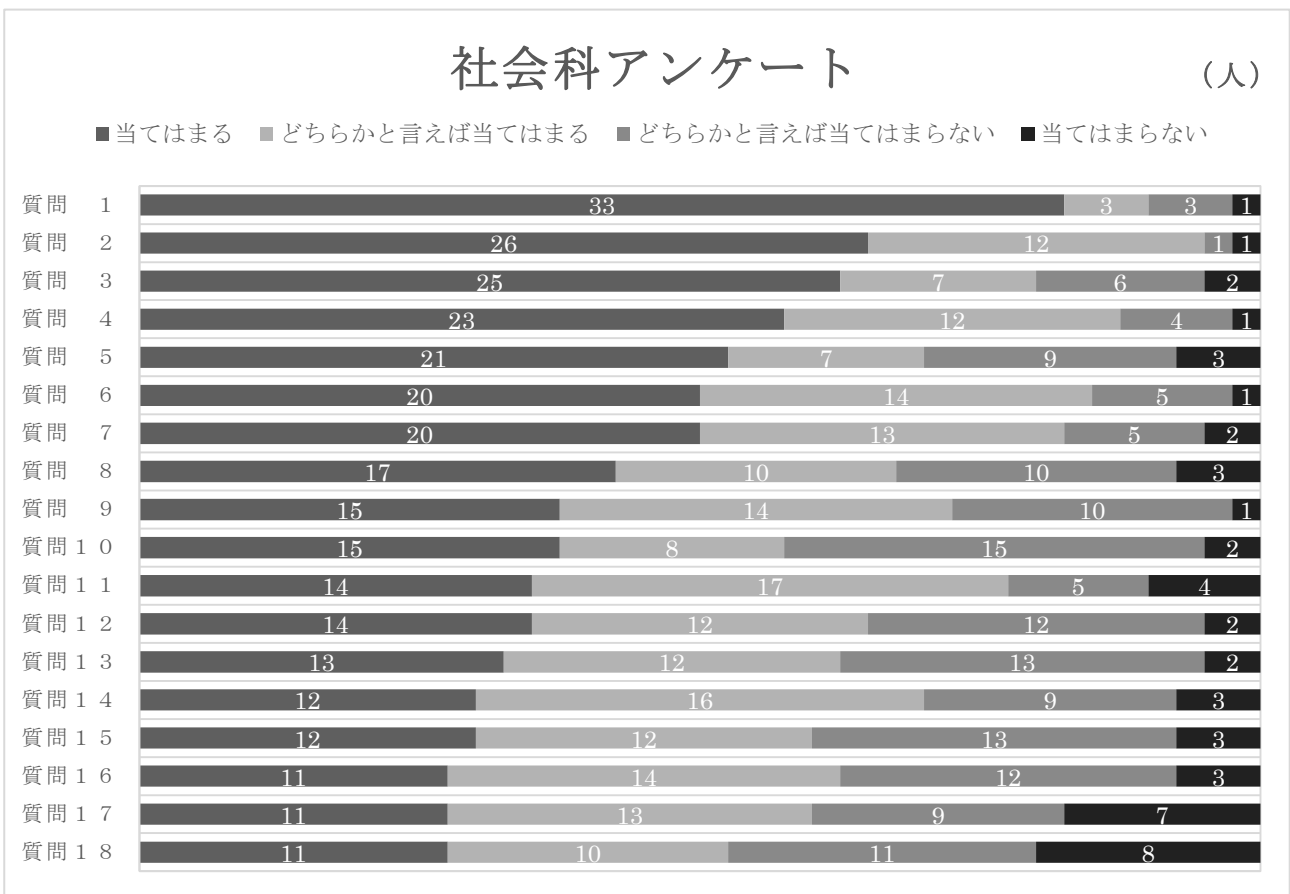
第1小単元、「自動車づくりにはげむ人々」では、工業生産の様子や働く人々の工夫や努力、部品工場との関連、輸送の役割等について捉える。今年度は、11月15日に社会科見学で『日産自動車追浜工場』を訪れている。

本時で行う第2小単元「世界とつながる日本の工業」では、自動車の輸出という、第1章単元の学習内容からつながる事例を最初に取り上げ、そこから工業生産における貿易や海外生産のはたらきに気づかせると共に、工業生産が抱える課題を捉えさせるといふ、展開になっている。社会科見学での学びの振り返りを活かしながら、海外との繋がりに視点を広げていく。そして、主に個人学習でグラフや地図などの資料から事実的な知識を読み取らせる。読み取ったことを共有し、事実的な知識を押さえた上で、発展的な話し合うテーマを設定し、概念的な知識に向上させる。

第3小単元「工業の今と未来」では、前の2つの小単元の具体的な事例の学習を踏まえながら、日本の工業生産の特色や今後のあり方について考える。

(3) 児童の実態

アンケート実施（対象5年1組40名 実施日5月）



質問番号は、「当てはまる」の回答が多い順に並べ替えているため、児童に行った際のアンケート順とは異なる。

- 【質問 1】 見学に行って調べることは好きだ。
- 【質問 2】 社会科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 【質問 3】 本やインターネットを使って調べる学習は好きだ。
- 【質問 4】 友達と協力して学習することは好きだ。
- 【質問 5】 本やインターネットを使って調べる学習は得意だ。
- 【質問 6】 友達の発表を見たり聞いたりすることは好きだ。
- 【質問 7】 社会科の学習は楽しい。
- 【質問 8】 社会科の学習は得意だ。
- 【質問 9】 グラフや写真から分かったことをまとめることは好きだ。
- 【質問 10】 なぜ、どうしてと思ったことを自分で調べることが得意だ。
- 【質問 11】 新聞やニュースを見ることは好きだ。
- 【質問 12】 グラフや写真から分かったことをまとめることは得意だ。
- 【質問 13】 なぜ、どうしてと思ったことを自分で調べることが好きだ。
- 【質問 14】 自分の地域、都市、国、世界、歴史、政治などについて、なぜ、どうしてと思うことがある。
- 【質問 15】 自分の考えをノートなどにまとめることは好きだ。
- 【質問 16】 自分の考えをノートなどにまとめることは得意だ。
- 【質問 17】 自分の考えや調べたことを発表することは好きだ。
- 【質問 18】 自分の考えや調べたことを発表することは得意だ。

「友達と協力して学習することは好きだ」、「友達の発表を見たり聞いたりすることは好きだ」、「本やインターネットを使って調べる学習は好きだ」という質問に対して8割以上が肯定的に答えている一方で、「自分の考えをノートなどにまとめることは好きだ」、「自分の考えをノートなどにまとめることは得意だ」、「自分の考えや調べたことを発表することは好きだ」、「自分の考えや調べたことを発表することは得意だ」という質問に対しては、4割程度が否定的に答えている。見たり聞いたりすることや、調べることは好きだけれど、まとめたり、発表したりすることに対しては、自信がもてないのではないかと考えられる。改めて、まとめ方や発表の仕方の見本となるものを示したり、よいものを価値付けしたりすることで、指針をもたせることが大切であると考える。

ICT 機器に関しては、第3学年の単元「わたしたちのくらしと商店の仕事」の学習において、タブレットを使用して学習に調べ学習に取り組んでおり、静止画と動画の撮影は経験している。「ロイロノート」で、プレゼンテーションを作成する際にも活用もしているため、ICT 機器の使用には、慣れている児童が多いと言える。本単元では、特別な機器という感覚では無く、教科書や資料集、ノートと同じ感覚で使用させていきたい。

## 6 研究主題に迫るための手立て

目指す児童像

自ら課題を追究し、様々な視点から考え、伝えることができる児童

### (1) 教材の工夫

- ① グラフや写真から事実を読み取り、自分なりに社会的な意味付けをする過程を重視する。そのために、学習問題の答えと言える内容が文章化されている教科書は開かせずに、学習問題の解決に取り組ませる。
- ② 貿易や海外生産を取り巻く現状は変化が激しいものなので、教科書や資料集をベースにしつつ、最新の情報を教材として適宜加える。

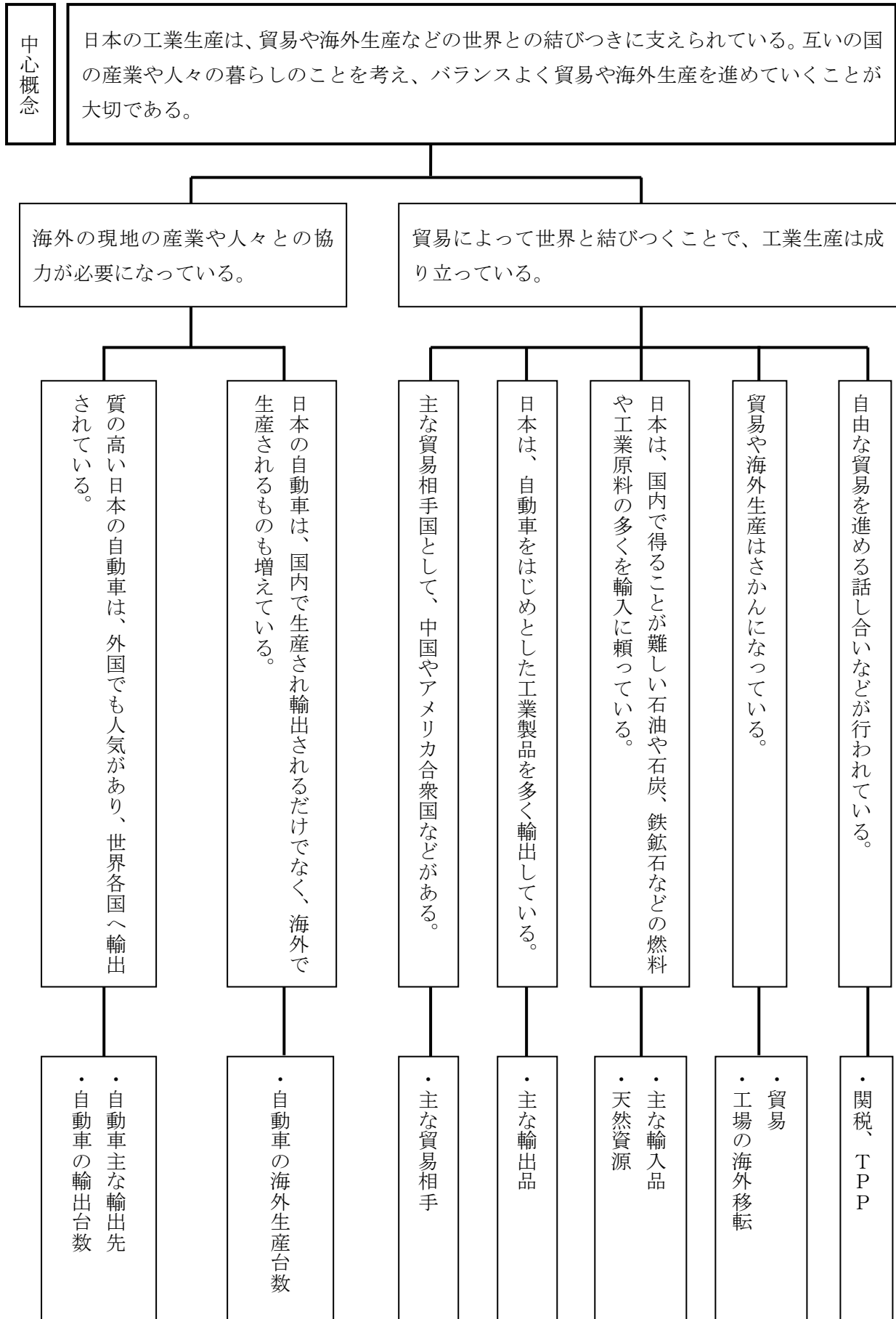
### (2) 学習活動の工夫

- ① 学習問題を設定した後、まず、個人でグラフや地図などの資料を読み取らせる。そして、読み取ったことを共有しながら、事実的な知識を押さえると共に、概念的な知識に向上させる。さらに、事実的な知識、概念的な知識をもとにして思考・判断するような話し合いテーマを設定し、深い学びに繋げる。
- ② 学習で学んだことや考えたことを改めて自分自身で見つめるために、1時間の学習の最後には、「振り返り」をノートに書く活動を設定する。毎時間行うことで、学習の積み重ねや、自分自身の考えの変容を見ることもできると考える。

### (3) ICT 機器活用の工夫

- ① 『ロイロノートスクール』の「資料箱」に、教科書のグラフや地図などの資料を保存しておき、いつでも見られるようにしておく。印刷をしなくても、一人一人が、選択した資料を、手元で、カラーで見ることができる。
- ② 『Google Earth』を使用して、貿易国との位置関係を調べる。『Google Earth』を使用することで、関心を高められるとともに、日本と海外の国々が飛行機や船で繋がるイメージが地図帳よりもつことができると考える。
- ③ 話し合う活動では、「事実」や「自分の考えの根拠」を示す際に、タブレット内のグラフや地図などの資料を示しながら伝えるようにする。ニュース番組で解説者が示すフリップのような活用ができるようになってもらいたい。そのために、ニュース番組や国会討論でフリップを出して説明している動画を事前に見せてイメージをもたせるとともに、よさを価値付けする。また、児童が示した資料は、学級全員が手元のタブレットで見たり、スクリーンに映したりすることもできるため、活用の幅は広がると考える。

## 7 学習内容の構造図



## 8 小単元の指導計画（全5時間）

	時	○学習活動	◇支援、手だて【評価】
第一次	1	<p>○社会科見学（日産自動車追浜工場）の港の様子を振り返る。</p> <p>○資料から自動車の輸出先を読み取り、地図や『Google Earth』で位置関係を確認する。</p> <p>○資料から自動車の海外生産について読み取る。</p> <p>○学習問題をつかむ。</p>	<p>◇港に船が停泊していたことや、フランス・ルノー社の自動車が港にあったことを想起させ、海外との繋がりに視点を当てる。</p> <p>◇グラフや地図などの資料からの読み取りのポイントを確認する。</p> <p>◇タブレットを一人一台使用させる。操作方法を全体で確認する。</p>
	2・3 (本時)	<p>○『ロイロノートスクール』内のグラフや地図などの資料を活用して調べ、学習問題に対する自分の答えをまとめる。</p> <p>○3人グループで交流する。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>○「振り返り」を書く。</p> <p>○次時の学習を知る。</p>	<p>◇事前にタブレットにグラフや地図などの資料を保存しておき、それらの資料を結び付けて考えさせる。</p> <p>◇タブレットを一人一台使用させる。</p> <p>◇事実や根拠となるグラフや地図などの資料を示すようにさせる。</p> <p>◇次時は、動機付けとして、「会議」という設定で行う。</p> <p>【関心・意欲・態度①】</p> <p>【思考・判断・表現①】</p>
第二次	4・5	<p>○前時までの学習を活かして、学習問題に対する自分の考えを書く。</p> <p>○3人グループで交流する。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>○自分の考えを再構築して、「振り返り」を書く。</p>	<p>◇「経済産業省の会議」という設定で行う。</p> <p>◇「事実」、「自分の考え」、「根拠」を区別して発言させる。</p> <p>◇「事実」や「根拠」を伝える際に、タブレット内の図や写真、グラフを提示させる。</p> <p>◇「国際会議」という設定で行う。</p> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>【知識・理解①】</p>

**9 本時の指導（3時間目／全5時間）**

(1) 目標

日本の主な輸出入の品目や貿易相手先について、グラフや地図などの資料から必要な情報を集め、読み取っている。

(2) 授業を見る視点

①教科の観点

・グラフや地図などの資料から必要な情報だけを集め、読み取ったり考えたりするための手だては十分だったか。

②ICTの観点

・一人一台のタブレットを使用することは、資料を読み取る技能を高める上で有効だったか。

(3) 本時の展開

○学習活動 C：予想される児童の反応	◇指導、支援 ☆ICT機器の活用ポイント 評価【評価規準】(方法)
○前時の学習を振り返る。	◇事前に『ロイロノート』内の「資料箱」にグラフや地図などの資料を保存しておく。検索機能は使用させない。
<p><b>日本は工業生産において、外国とどのような関わりがあるのだろうか。</b></p>	
<p>○タブレットの『ロイロノートスクール』の「資料箱」内のグラフや地図などの資料を読み取り、ノートに書く。【前時の続き】</p> <p>○3人グループで交流する。 C：日本は燃料や原料をほとんど輸入している。 C：日本は工業製品をたくさん輸出している。</p> <p>○全体で交流する。 C：日本は工業の原料を輸入しないと、工業製品をつくることができない。</p> <p>○「振り返り」を書く。 C：日本は、工業製品の原料をとることができないことがわかった。 C：貿易ができないと、工業製品を作ることができないことがわかった。</p> <p>○次時の学習を知る。</p>	<p>☆タブレットを一人一台使用させる。 ☆支援が必要な児童には、タブレットでヒントカードを個人宛に送信する。</p> <p>◇事実や根拠となるグラフや地図などの資料を示しながら伝えるようにさせる。 ◇交流の仕方が手本になるグループを紹介し、全体に広げる。 ◇スクリーンにグラフや地図などの資料を映し出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A：外国とのつながりが工業生産を支えていることを含め、日本の主な輸出入の品目や貿易相手先について、グラフや地図などの資料から必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>B：日本の主な輸出入の品目や貿易相手先について、グラフや地図などの資料から必要な情報を集め、読み取っている。 【技能①】(発言・ノート)</p> </div> <p>◇次時は、動機付けとして、「会議」という設定で行う。</p>

(3) 板書計画

日本は工業生産において、外国とどのような関わりがあるのだろうか。

- 日本は石油を多く輸入していて、機械類を多く輸出している。
- 日本は、石油や石炭、鉄鉱石などの燃料や原料をほとんど輸入している。
- 日本は工業製品をたくさん輸出している。



日本は工業の原料を輸入しないと、工業製品をつくることができない！

スクリーン